高砂市民病院新病院建設基本構想・基本計画（案）のポイント

1 基本方針

（1）地域医療連携

地域医療を安定的かつ持続的に提供していくためには、関係医療機関との適切な役割分担と相互連携が不可欠です。各クリニックからの紹介患者を積極的に受け入れ、外来・入院診療を通じて地域医療の中核的役割を果たします。一方で、対応が困難な高度・専門的医療を要する症例については高次の病院へ適切に紹介します。機能分担に基づいた円滑な連携体制を構築し、地域全体で切れ目のない医療を提供します。

（2）政策的医療

・救急医療
・災害医療
・新興感染症医療
・高砂こども療育支援センター

（3）その他の診療

・健診センター事業
・訪問看護ステーション

2 病床数

・急性期病床55床、回復期病床55床、緩和ケア病床18床の128床
・救急告示病床数は現状と同じ9床
・急性期病床及び回復期病床の個室割合は3割程度とし、緩和ケア病床は全室個室

3 標榜診療科

・現行体制を基本とするが、今後の医師確保や医療需要等の状況に応じ、適切な診療科設定を検討する

4 施設整備方針

・延床面積11，000㎡程度
・耐震構造
・現高砂市文化会館敷地を建設予定地とする

・一般車両、救急車両、バス、タクシー、サービス用車両、通勤車両など全ての車両の敷地への出入り口は、原則、市道本町幹線道路側（敷地西側）に設ける

5 災害対策

・停電時にも最低3日間（72 時間）は医療機能を維持できる非常用発電機設備を設置する

・無停電電源装置を設置する

・災害発生時におけるライフラインの停止や物品流通の停滞を考慮し、水・食料・薬剤・診療材料等、3日分程度を備蓄する

・「高砂市ハザードマップ」による計画規模降雨に対応した浸水対策を検討する

・受変電設備や非常用発電機設備の上層階への配置などにより災害に強い施設とする

6 整備手法

・基本設計は単独で発注し、併せてコンストラクション・マネジメント業務及び医療機器等整備支援業務を別途発注する

・実施設計以降は、デザインビルド方式（設計・施工一括発注方式）により整備を進める

7 概算事業費

項目		概算金額 （税込）
建設工事費	新築工事費	116．6億円
	外構等工事費	7．6億円
	浸水対策工事費	6．4億円
委託費等		7．2億円
合計		137．8億円

・新築工事費は昨今の建設価格の高騰を考慮し、1平方メートルあたり106万円（税込）

・事業費は、今後、基本設計の工程において、具体的な検討を行い精査していく

・現高砂市文化会館の解体にかかる費用は含まれていない

8 開院までのスケジュール

	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
基本設計	⇔					
事業者選定		⇔				
実施設計			⇔			
文化会館解体工事			⇔			
建設工事（外構工事含む）				⇔	⇔	
移転作業					⇔	
開院						★

・開院は令和 14 年 6 月頃を目指して取り組む

・高砂市文化会館の解体工事は、現指定管理期間満了後の令和 11 年4月以降の着手を想定